



ネットヨタ三重&つっぴー編集室 presents

# 部活応援隊が行く!!

セントヨゼフ女子学園  
ウォークソン  
編

歩くことの意味を考える、歩くことの痛みを知る、歩くことで繋がる

## セントヨゼフ女子学園 ウォークソン

ウォークソン：セントヨゼフ学園では毎年学園から津駅までの往復10kmを歩き、自分で探したスポンサーの方から募金を集め、それを支援先に送る学園内最大の行事があります。

ウォークソンは1986年から始まり、今年の10月で34回目を迎えます。

毎年、生徒自らが支援先を選び、その地にお金を送る活動が、全国の高校生が集まるボランティア活動の交流会「ボランティアアワード」で

2017年度では銀賞、2019年度では特別賞を受賞されています。

今年度はシエラレオネ、フィリピンの人々の教育支援のために活動がとらえられています。

今年のウォークソンは10月19日(土)に開催されます。そこで先生とともに実行委員の生徒さんにウォークソンについてお聞きしました。

**Q1** ウォークソンを通して生徒さんに学んで欲しいことを教えてください。

**A1** (堀川先生)シエラレオネの子どもは村から学校まで片道10km以上歩いて通っています。ウォークソンで歩くことで支援先の状況や痛みを体を通してその国の大変さを感じてもらいたいです。そして、自分ができる手助けを自分たちが調べて届けていく。手助けを必要とする人を探してでも助けて欲しいです。



カプール先生 (右)西尾 優先生

**Q2** ウォークソンに向けて伝えたいことを教えてください。

**A2** (奥山さん)1年目は10km歩くことに疲れたとか大変な思っていました。5年目となりこの活動の中心の役割となり、なぜ歩かなければいけないかというみんなに意味を知ってもらいたいです。又、学校以外の方にもウォークソンのことをSNSやインターネットを通してもらいたいです。

(樋田さん)繋がる支援が34年間続いています。先輩たちから受け継ぐ代になったので、伝統を絶やさないようにしたいです。また新しい取り組みとして学校にネットで募金できるようになったのでぜひ支援をお願いします。



〈右〉樋口 実波さん (ひぐち みなみ)  
〈中央〉奥山 千笑さん (おくやま ちえ)  
〈左〉樋田 名律さん (といたなつ)



フリモAR アプリをダウンロード! 写真にカメラを向けると生徒さんのコメントが聞けます。

**Q3** ボランティアアワードについて教えてください。

**A3** (樋口さん)今年度は180校の中からが主体となり、支援をして、そして届けるというのが評価されたのだと思います。これからは直接届けて顔が見える支援をします。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!